

Ewa, chęć, spac



ポーランド映画の魅力をあなたに...

# ポーランド映画祭2015 in 札幌

## POLAND FILM FESTIVAL IN SAPPORO



Ziemia obiecana



Vabank

2016年  
2月6日[土]  
札幌プラザ2・5

主催：ポーランド映画祭インスティテュート/ポーランド映画祭メイズアソシエーション/ポーランド広報文化センター/CULTURE.PL/スコピヤフィルム/マーメイドフィルム  
協力：フィルムスタジオ・ガドル/フィルムスタジオ・ゼブラ/CRF 後援：駐日ポーランド共和国大使館/北海道ポーランド文化協会/小野瀬子 配給：マーメイドフィルム 宣伝：VALERIA 配給協力：コピアフィルム



# ポーランド映画祭2015 in札幌

2015年はポーランド映画界にとって記念すべき年となりました。バヴェウ・パブリコフスキ監督の「イダ」がアメリカのアカデミー賞外国語映画賞を受賞、ポーランド映画史上初の快挙を成し遂げたのです。この事実はワイダ、スコリモフスキ、ポランスキーといった50年代から活躍している巨匠たちだけではなく、若い作家の台頭を世界に知らしめた出来事と言えるでしょう。今年、ポーランド広報文化センターの協力により、「ポーランド映画の都ウッチ」をテーマにした3作品を御紹介します。ポーランドのウッチ国立映画大学(1948年設立)は、米ハリウッド・レポーター誌が選ぶ2012年版「世界の映画学校ベスト25」にも選ばれた名門映画大学。これまでに、ワイダ、ポランスキー、ケシロフスキ、スコリモフスキ、コンヴィツキ、ハス他、名だたる映画作家たちを多数輩出してきました。また、「幸せのありか」のマチエイ・ビェブシツァなど、近年のポーランド映画界を席卷する作家たちの多くもウッチ映画大学の出身者です。ウッチは19世紀に世界屈指の繊維工業地帯として発展し、ポーランド・ドイツ・ユダヤの民族と文化が共存する都市として知られていましたが、二度の大戦で大きな経済的打撃を受けました。しかし戦後に見事な復興を遂げ、現在はワルシャワに継ぐポーランド第2の都市と呼ばれています。

本特集では、19世紀のウッチを舞台にしたワイダの壮大な歴史劇「約束の土地」をはじめ、「ポーランド派」が活躍した1950年代から、ウッチ映画大学が世に送り出した貴重な作品群をご紹介します。ポーランド映画を支えてきたウッチの文化と魅力を、たっぷりとお楽しみください。



## エヴァは眠りたい

*Ewa chce spać*

監督：タデウシュ・フミェレフスキ

1957年 | 99分 | モノクロ | デジタル・リマスター版

◆ 幻想とリアルを織り交ぜた、不条理でダークなユーモアとルネ・クレール風の抒情性をあわせてフミェレフスキ(1954年ウッチ映画大学卒)の大ヒット作。娯楽喜劇として作られた戦後最初の作品と言われ、全住民が警官か泥棒という奇妙な町に若い娘エヴァがやってくる物語は、ポーランドの現実を暗示しているかのようだ。サン・セバスティアン映画祭グランプリ。



## 約束の土地

*Ziemia obiecana*

監督：アンジェイ・ワイダ

1974年 | 169分 | カラー | デジタル・リマスター版

◆ 70年代のワイダ(1953年ウッチ映画大学卒)は文学作品を数多く映画化しているが、なかでも国内外で高い評価を得ているのが本作。ヴワディスワフ・レイモントの小説をもとにユダヤ、ポーランド、ドイツという異なった民族に属する若き親友3人が工業都市ウッチで身を立てよとする物語は、青春群像劇でありながら、同時に急速に発展する大都市の肖像にもなっている。



## ヴァバンク

*Vabank*

監督：ユリウシュ・マフルスキ

1981年 | 109分 | カラー | デジタル・リマスター版

◆ ウッチ映画大学を卒業後、70年代後半から活躍しているマフルスキの大ヒット作。30年代のワルシャワで刑務所切りの詐欺師が再び悪事を働く犯罪コメディ。米映画の名作「ステイグ」を想起させる出来栄は一級品。ポーランドで知らない人はいないとも言われる本作は、同じキャストとスタッフで続編もつづられている。また主演俳優は監督の父親である。

## 2月6日[土] スケジュール

10:30 — 開場

11:00 — 開幕挨拶：駐日ポーランド共和国大使  
ツィルル・コザチェフスキ閣下(予定)

映画解説トーク：久山宏一

11:20 — 上映「エヴァは眠りたい」(12:55終了予定)

場内入れ替え

13:30 — 開場

13:40 — 映画解説トーク：久山宏一

13:55 — 上映「約束の土地」(16:44終了予定)

場内入れ替え

17:30 — 開場

17:40 — 映画解説トーク：久山宏一

17:55 — 上映「ヴァバンク」(19:44終了予定)

トークゲスト

久山宏一(くやまひろいち)

埼玉県生まれ。東京外国語大学ロシア学科卒業。早稲田大学大学院博士課程(ロシア文学)中退。アダム・ミツキェヴィチ大学(ポーランド、ボズナン市)より、博士号(スラヴ文学)取得。ロシア・ポーランド文学、ポーランド文化、比較文学研究。ポーランド語通訳・翻訳。東京外国語大学非常勤講師。ポーランド広報文化センター職員。

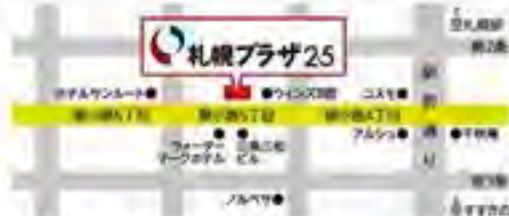
料金

一般1100円  
学生500円

\*料金いずれも税込  
\*各回入替制

## 札幌プラザ2・5

中央区南2条西5丁目4(狸小路5)  
Tel. 011-231-3388



お問合せ：マーメイトフィルム TEL:03-3239-9401

ポーランド広報文化センター  
駐日ポーランド大使館